

2012年2月20日

情報システム学会 新規研究会 設置申請書

1. 研究会名

ICT(情報通信技術)活用による女性の働き方研究会

2. 研究テーマ

本研究会では、ICT の活用により働く女性が妊娠や子育て期間中も安心してキャリア継続でき、企業の競争力も同時に高めていけるような働き方について研究する。

3. 主査

氏名：椎葉怜子

所属：株式会社ルシーダ

連絡先：〒150-0011 東京都渋谷区東 3-6-5

r.shiiba lucida.jp (■は@に置き換えて下さい)

4. 幹事

柿澤晋一郎 (三和コムテック株式会社)

伊藤重光 (日本アイ・ビー・エム・サービス株式会社)

5. 研究テーマ設置の趣旨

日本における共働き世帯数の推移を見ると、平成11年に共働き世帯数が専業主婦世帯数を上回ってからその差は年々広がっており、女性が結婚後も仕事をすることは一般的になってきた。ところが女性の約6割が第一子の出産を機にキャリアを断絶しており、復職にあたっては正社員としての再就職は厳しく、能力を活かした仕事に就きにくいという現状がある。

企業の動きとしては、平成23年3月11日の震災を機に、電力の節約や事業の継続、社員の安全確保等の観点から、在宅型テレワークの導入に注目が集まっており、適切な在宅型テレワークの導入は、災害時における企業経営の安定のみならず、子育てや介護と仕事の両立による働く人の満足度アップや、優秀な人材の確保にもつながると考えられる。

本研究会では、在宅型テレワークなどITCの活用が妊娠や子育て期間中における女性のキャリア継続と企業の競争力アップにつながると仮定し、これからの時代の柔軟な働き方を提案したい。

6. 主たる活動場所

メンバーのオフィス及び公共施設

7. 活動計画(概要)

活動期間を2年とし、3カ月に1度程度の頻度で勉強会やメンバー間のミーティング等の会合をもつ。勉強会の案内は、ISSJ 会員に公開し、会員の紹介があれば非会員も参加できるものとする。会合とは別に、在宅ワーク導入企業へのインタビューも随時行いたい。

活動例

1. 妊娠・出産を経験した女性社員へのテレワークニーズ調査
2. 男性社員のテレワーク利用と女性のキャリア継続に関する勉強会
3. テレワーク専門家をお招きした懇話会
4. 大企業のテレワーク事例共有会
5. 中堅・中小・ベンチャー企業のテレワーク事例共有会
6. テレワーク専門家をお招きした懇話会
7. 研究内容に対するフィードバック会
8. 研究発表

研究成果は、研究発表大会やメルマガ等を通して発表する。

8. 研究会構成員

- ・主査（上記3項）、幹事（上記4項）及び学会員（会員へ参加を呼びかける）
- ・学会員の紹介があった場合には非会員の参加を可とする
- ・研究会の進捗とともに学会員及び非会員からのメンバーを積極的に増強する。

以上

<補足>

- ◇ 「テレワーク」とは・・・ITを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。週8時間以上、職場以外の場所で仕事をする人は「テレワーカー」と呼ばれる
- ◇ 内閣府は在宅型テレワーカーを2015年までに700万人に増やす目標を打ち出している